

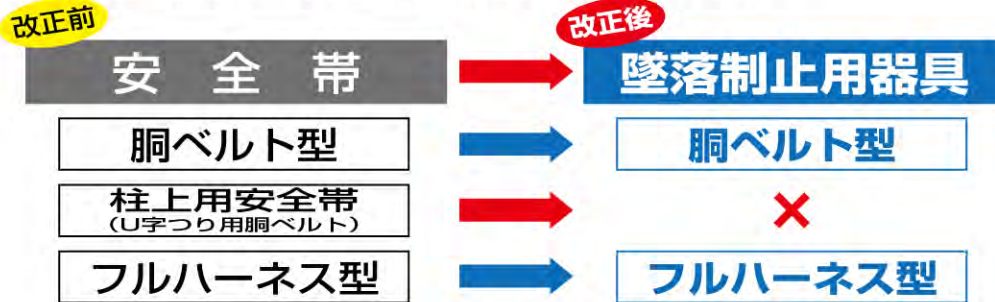
「墜落制止用器具」関連商品パンフレット

厚生労働省は、建設業等の高所作業において使用される「安全帯」について、以下のような改正を行いました。

■ 改正のポイント

1. 安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！

(※「安全帯」という用語で使用することは差し支えありません。)



※従来の安全帯に含まれていたワークポジショニング用器具であるU字つり用胸ベルトは「墜落制止用器具」には含まれません。

2. 墜落制止用器具は「フルハーネス型」を使用することが原則となります。

フルハーネス型の着用者が墜落時に地面に到達するおそれのある場合(高さが6.75m以下)は、「胸ベルト型(1本つり)」を使用できます。

※一般的な建設業は5m以上、柱上作業等の場合は2m以上の箇所ではフルハーネス型の使用が推奨されます。



3. フルハーネス型を使用する者は「安全衛生特別教育」が必要です。

高さが2m以上の箇所であって、作業床を設けることが困難な場合で、フルハーネス型を使用して行う作業は特別教育(学科4.5時間、実技1.5時間)を受けなければなりません。

■ 改正のスケジュール

改正前のフルハーネス型、胸ベルト型は**2022年1月2日から使用禁止**です。

法令等	公布	2019年2月1日	2022年1月2日
		施行日(2月1日)	完全施行日(1月2日~)
改正後のフルハーネス型・胸ベルト型		2019年2月1日から使用可能 2019年2月1日から販売開始	
改正前のフルハーネス型・胸ベルト型		2022年1月1日まで使用可能	

たくみ
フルハーネス型 匠Ⅱ



3271-K ●ブラック

3271-B ●ブルー

サイズ フリーサイズ 質量 1330g

●軽量バックル ※ワンタッチバックルも対応(納期確認)
●使用可能質量: 140kg

納期
確認商品

ほまれ
フルハーネス型 誉Ⅱ



3272-K ●ブラック

3272-B ●ブルー

サイズ フリーサイズ 質量 1410g

●ワンタッチバックル ※軽量バックルも対応(納期確認)
●使用可能質量: 140kg

納期
確認商品

フルハーネス型 [UXV-01A]



3273 ●ブラック

サイズ フリーサイズ 質量 1130g

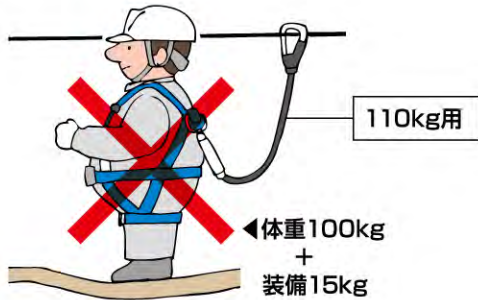
●胸ベルト無し
●使用可能質量: 100kg

納期
確認商品

フリーサイズ: 身長(cm)+体重(kg) = 190 ~ 290 (ウエスト100cm目安)

使用可能質量に耐える器具の選定

着用者の体重及びその装備品の重量の合計が、使用可能質量の表示以下である必要があります。超過する場合には使用せず、メーカーにご相談ください。



[UXV-01A]用 胸ベルト

納期
確認商品



3274-B ●軽量バックル式

全長 1200mm 質量 220g (ウエスト100cm目安)

手元リングロープ

納期
確認商品



3275 ●ブラック

全長 500mm 質量 100g

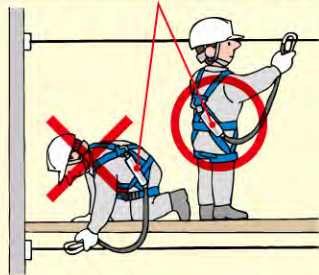
●D環に装着し、安全ブロックのフックを手元で掛けられます。

ランヤードタイプ1

納期
確認商品

(腰より上にフックが掛けられる作業で使用できます。) 装備を含め110kg以下(130kg以下タイプも対応可能)

タイプ1 (第一種ショックアブソーバ)



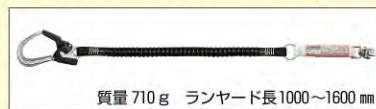
ランヤード1本(1丁掛け)



3276-A ●帯ロープ式

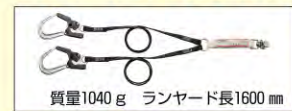


3277 ●巻取式

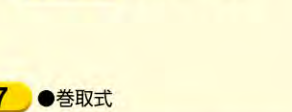


3278-A ●伸縮式

ランヤード2本(2丁掛け)



3276-B ●帯ロープ式



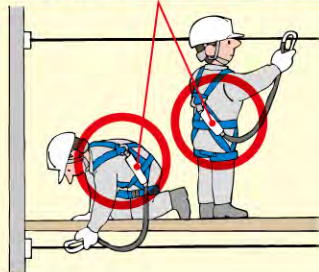
3278-B ●伸縮式

ランヤードタイプ2

納期
確認商品

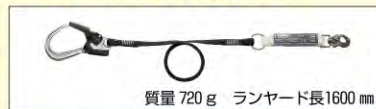
(足元または腰より上にフックが掛けられる作業で使用できます。) 装備を含め110kg以下

タイプ2 (第二種ショックアブソーバ)

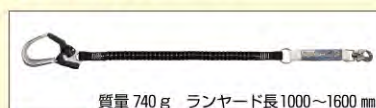


※ランヤードタイプ2は足元の高さまでフックを掛けられますが、ランヤードタイプ1に比べ落下距離が長くなり身体に掛かる衝撃が大きくなる為、腰より高い位置にフックを掛けるタイプ1を推奨します。

ランヤード1本(1丁掛け)



3279-A ●帯ロープ式



3280-A ●伸縮式

ランヤード2本(2丁掛け)



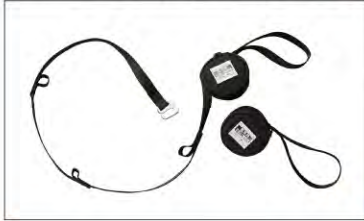
3279-B ●帯ロープ式



3280-B ●伸縮式

墜落時 足掛け補助具

納期
確認商品



- 墜落制止後に大腿静脈の圧迫を防ぎ、正常な血液循環を確保。
- 予め腿ベルトなどに固定しておきます。



3287 (2個1組)

フルハーネス型墜落制止用器具 使用作業特別教育修了シール



851-A

サイズ φ40
材質 ステッカー

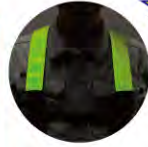
フルハーネス用反射帯



3224-RY
レモンイエロー
(4枚1組)



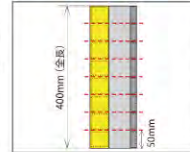
3224-RW
シルバー
(4枚1組)



反射 セット品



フルハーネスベルトに巻きつけ、面ファスナーでとめるだけで反射チョッキの代わりになります。裏面はすべり止め加工つきで、スリにくくなっています。



点線のカットラインで切って、身体に合った長さに調節することができます。余った部分も短いパーツとして活用できます。お好みの場所に取り付けてご使用ください。

サイズ	本体：長さ400mm×幅130mm 反射部：長さ400mm×幅50mm
材質	本体：PVCレザー 反射部：PVC 面ファスナー：ポリエステル
質量	52g(1枚あたり)

フルハーネス用反射帯用役職シール

使用例

安全
ハト
ール

3224-R01

サイズ 130×35 材質 透明PET ステッカー

作業
責任
者

3224-R02

作業
指揮
者

3224-R03

作業
主任
者

3224-R04

職
長

3224-R05

玉
掛
者

3224-R06

合
図
者

3224-R07

誘
導
員

3224-R08

ご
安
全
に

3224-R09

3224-R59

●透明無地

フルハーネス対応

反射チョッキ

ゼロ
零

- フルハーネスを装着したまま着用できる安全チョッキ。
- 蛍光のメッシュで視認性抜群。
- 反射材にφ10mmの通気口加工。熱がこもりにくい構造。



TY-9Y

- イエローメッシュ
イエロー反射



TY-9J

- オレンジメッシュ
イエロー反射



胸のフックホルダーにも
干渉しません。



背面には名入れ用の白反射付



蛍光 反射

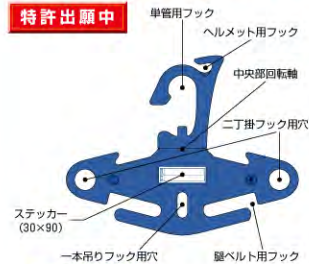
着用感ゼロ!
風通し抜群!!

斬新なデザインのチョッキ登場!!

サイズ	フリーサイズ
着丈	51cm
材質	ナイロンメッシュ
反射シート	ターボリン

フルハーネス型安全帯用ハンガー

特許出願中



イーグル



3229

サイズ	材 質	厚 み
348×450	ポリエチレン	30mm

作業所の整理整頓に!

フルハーネス型安全帯は胴ベルト・胸ベルト・腿ベルトを組み合わせた複雑な構造の為、作業終了後は乱雑になり、いざ着用という時にベルトが絡まり時間を要していました。この問題を解決するのがフルハーネス型安全帯専用ハンガー「イーグル」です。イーグルにフルハーネス型安全帯を掛けて保管すれば、着用しやすい状態を保持できます。

墜落制止用器具関連標識

足場の組立て等
作業主任者の職務

1. 作業の仕方の説明を厳密にし、作業員を教育すること。
2. 作業の進行、進行状況の確認、作業員及び作業機械の位置を把握し、作業員を指導すること。
3. 作業の方法及び作業員の配置を決定し、作業の進行状況を監視すること。
4. 緊急時避難指示・避難方法の確保、作業員の安全確保すること。

90

サイズ	450×300
材質	SCボード
厚み	1mm
穴数	4ヶ所

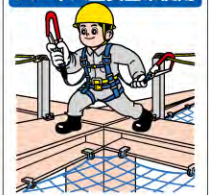
フルハーネス二丁掛け
安全帯を使用せよ



23-H

サイズ	600×300
材質	SCボード
厚み	1mm
穴数	4ヶ所

高所作業は
ハーネス型安全帯使用



23-J

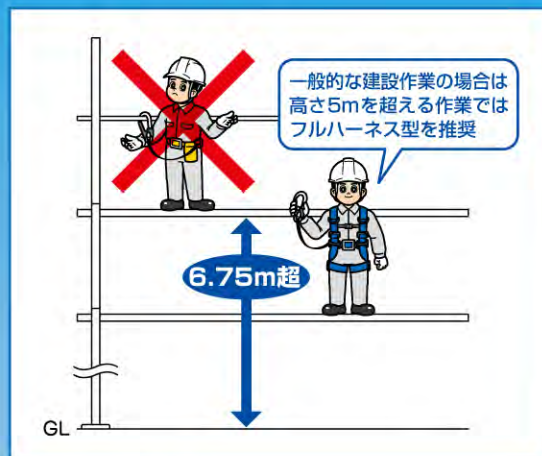
サイズ	600×450
材質	SCボード
厚み	1mm
穴数	4ヶ所

※作業主任者の職務関連標識(写真ケース付含む)を先行して文字変更しました。

■ フルハーネス型と胴ベルト型の選定条件

墜落制止用器具はフルハーネス型が原則となりますが、フルハーネス型の着用者が墜落時に地面に到達する恐れのある場合(高さが6.75m以下)は胴ベルト型(1本吊り)を使用することができます。

※一般的な建設業は5m以上、柱上作業等の場合は2m以上の箇所ではフルハーネス型の使用が推奨されます。



二丁掛け胴ベルト型

納期
確認商品



3285 ●ブルー

ランヤード長 1660mm
質量 1770g
●巻取り+帯ロープ
●使用可能質量:100kg
(ウエスト100cm目安)

胴ベルト型

納期
確認商品



3286 ●ブルー

ランヤード長 1660mm
質量 1270g
●巻取り
●使用可能質量:100kg
(ウエスト100cm目安)

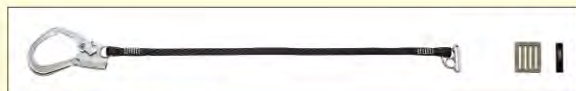
二丁掛け胴ベルト型補助ロープ

納期
確認商品



3285-F ●ブラック

全長 1100mm 質量 670g
●フック式(取外し可)



3285-D ●ブラック

全長 1000mm 質量 500g
●3D環式(組込み)

■ 墜落制止用器具 Q&A

Q. 全員がフルハーネス型を使用しなければいけないの？

A. 「高さが2m以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところ」においては、フルハーネス型を使用することが原則です。しかし、作業する高さが6.75m以下の場合、胴ベルト型を使用することができます。(地面に激突する恐れのある場合)。また、建設業の場合においては、5m以下は胴ベルト型の使用が可能とガイドラインで示されています。

Q. 2m~6.75m、又は2m~5m以下の場合は、地面に激突してしまうので、胴ベルトになるのでは？

A. 胴ベルト型も使用できますが、原則はフルハーネス型です。5m以下の作業でフルハーネス型を使用される労働者には、巻取り式ランヤード(ロック機能付)をお勧めします。ロック機能により落下距離を抑えることが可能です。

Q. 特別教育は全員に必要なの？

A. 特別教育は、「高さが2m以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところにおいて、フルハーネス型の墜落制止用器具を用いて行う作業に係る業務(ロープ高所作業に係る業務を除く)」を行う労働者は受ける義務があります。つまり、フルハーネスを使って作業する人は全員受講しなければなりません。これは、新規格品、旧規格品に関係なく受講しなければなりません。

Q. 特別教育はどこで受けられるの？

A. 建防災や中防災で特別教育の講習を実施していますが、基本的には、社内教育で問題ありません。その場合は、3年間の記録を取る事、教育者は、特別教育の内容を熟知していることが条件となります。

Q. 胴ベルトも特別教育は必要なの？

A. 今回の改正では、「高さが2m以上の箇所であって、作業床を設けることが困難なところにおいて、墜落制止用器具のうちフルハーネス型のものを用いて行う作業に係る業務(ロープ高所作業に係る業務を除く)」ことから、胴ベルトの作業のみは、特別教育は、必要ありません。

Q. 新規格適合ハーネスと従来のランヤードの組み合わせでも良いの？

A. 新規格品と旧規格品の併用は、改造品扱いとなり、使用できません。旧規格ハーネスと新規格ランヤードの組み合わせも同様に使用できません。